

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U) 平4-1626

⑫Int.Cl.  
F 01 P 11/12  
E 02 F 9/00  
9/18  
F 01 P 5/06  
F 02 B 77/13

識別記号 庁内整理番号  
D 6848-3C  
9022-2D  
9022-2D  
S 6848-3C  
P 6848-3C

⑬公開 平成4年(1992)1月8日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全2頁)

⑭考案の名称 エンジンの騒音低減装置

⑮実 願 平2-39543

⑯出 願 平2(1990)4月16日

⑰考案者 駒 宮 直 埼玉県加須市南篠崎1-6 小松ゼノア株式会社建機事業部内  
⑱考案者 荒 井 邦 也 埼玉県加須市南篠崎1-6 小松ゼノア株式会社建機事業部内  
⑲考案者 日 向 野 登 埼玉県加須市南篠崎1-6 小松ゼノア株式会社建機事業部内  
⑳考案者 竹 内 英 出 世 埼玉県加須市南篠崎1-6 小松ゼノア株式会社建機事業部内  
㉑出 願 人 株式会社小松製作所 東京都港区赤坂2丁目3番6号  
㉒出 願 人 小松ゼノア株式会社 東京都東大和市桜が丘2丁目142番地1  
㉓代 理 人 弁理士 松 澤 統 外1名

㉔実用新案登録請求の範囲

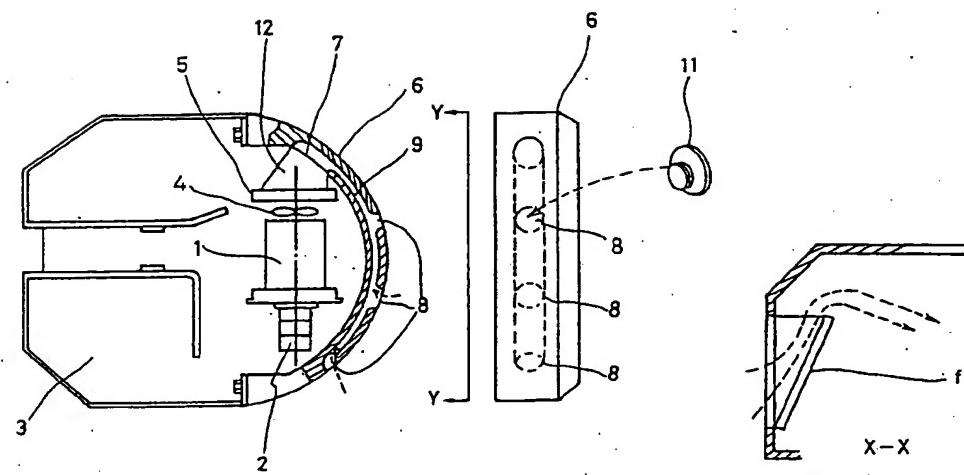
- (1) パワーショベルの後方カウンタウエイト6を中空に形成し、該中空穴9の内側にラジエータ5とダクト12を介して接続する接続穴7を設けると共に中空穴9の外周には間隔を置いて複数個の吸気穴8、8…を設け、上記中空穴9の内周面には吸音材10<sub>1</sub>、10<sub>2</sub>、10<sub>3</sub>、10<sub>4</sub>を接着してなるエンジンの騒音低減装置。  
(2) 上記吸気穴8、8…のうち適宜の穴をキヤップ11で適宜カバーすることにより吸気方向を適宜選定できるようにした、請求項(1)記載のエンジンの騒音低減装置。

図面の簡単な説明

第1図aおよびbはこの考案の一実施例の要部の断面図とY-Y矢視図、第2図および第3図は従来のカバー開口部の2つの構造を示したもので、いずれも第4図のX-X断面を示す。第4図はこの考案の適用されるパワーショベルの一例を示す。

5……ラジエータ、6……カウンタウエイト、  
7……接続穴、8……吸気穴、9……中空穴、10<sub>1</sub>、10<sub>2</sub>……吸音部材、11……キヤップ、12……ダクト。

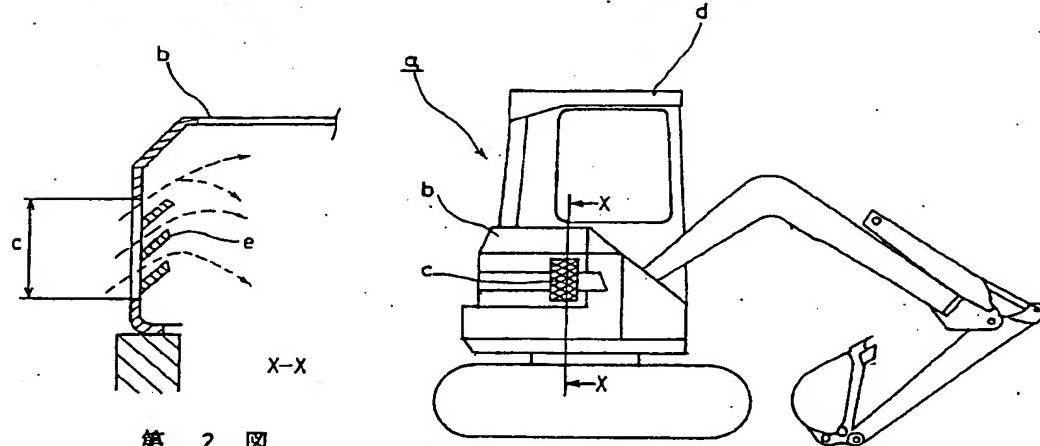
実開 平4-1626(2)



第3図

第1図(a)

第1図(b)



第2図

第4図